

小野高生が花壇を整備

小野高校産業技術系列の3年生が6月18日、「ふくしまを花で飾ろう『市町村の花』の花壇プロジェクト」で整備したふるさと文化の館前の花壇に、マリーゴールドやペゴニアなどの植栽を行いました。

この花壇は、平成30年に南相馬市で開かれた「第69回全国植樹祭」を記念して整備されたもので、例年小野高生の皆さんにより、季節の花へ植え替えをいただいています。

今後も地域の皆さんに草花を楽しんでいただけるよう、整備していく予定です。



「今日は、たんけんたい」とリュックサックを背負い、うれしそうに登園してくる子どもたち。大好きな活動の一つです。

おのまちわかばたんけんたいは、郡山女子大学短期大学部幼児教育学科の柴田卓先生のご指導のもと行われているもので、今年で6年目を迎えました。

小野町の豊かな自然環境での体験を通して、子どもたちの豊かな感性と丈夫な体を育むことを目的として行っています。

6月のたんけんたいは、東堂山満福寺でのトレッキングです。「地図を見ながら探検しよう!」という活動でした。

柴田先生の手作り地図を見ながらの探検は、羅漢さまのさまざまな表情を楽しみながら歩き、緑とのふれあいの森を目指しました。急な坂道や根っこ道など、歩くだけでも発見がたくさんあります。発見は先生や友達に伝え、言葉での伝え合いにもつながっています。

ふれあいの森に到着してからは、前回のたんけんたいで捕まえたおたまじゃくしから飼育したカエルを池に返しました。

このカエルは、子どもたちの話し合いで生息地の池に返すことになり、「バイバイ」「元気でね」と見送っていました。

別れに心を動かされ、生命の不思議さや尊さにも気付き、命の大切さも感じることはできたのではないのでしょうか。

自然体験を通して、主体的に学んでいる子どもたちが、自然に親しみ、ものを大切にしようとする気持ちが育っていくよう、活動していきたいと思います。

